

2022年度

# (公財)愛知大学教育研究支援財団 奨励賞授与式

後援会奨励賞 同窓会奨励賞 クラブ愛知賞 資格試験合格者奨励賞

## 愛知大学 公務員試験合格者奨励賞授与式



日時 | 2023年3月4日(土)11:00~12:30

場所 | 車道校舎 本館3階 コンベンションホール

### プログラム

- 一. 開式
- 一. 挨拶 (公財)愛知大学教育研究支援財団 理事長 加藤満憲
- 一. 挨拶 愛知大学 学長 川井伸一
- 一. 後援会奨励賞  
選考結果報告 愛知大学学生部 委員長 富村 圭  
奨励賞授与 愛知大学後援会 会長 武山卓史
- 一. 同窓会奨励賞  
選考結果報告 愛知大学同窓会 広報委員長 小濱 恵  
奨励賞授与 愛知大学同窓会 会長 八木好郎
- 一. クラブ愛知賞  
選考結果報告及び授与 クラブ愛知 副会長 山田哲也
- 一. 愛知大学公務員試験合格者奨励賞  
試験結果報告  
愛知大学 キャリア支援センター  
委員長 吉川 剛  
奨励賞授与 愛知大学 学長 川井伸一
- 一. 受賞者代表謝辞  
公務員試験合格者奨励賞受賞者 代表  
後援会奨励賞受賞者 代表  
同窓会奨励賞受賞者 代表
- 一. 閉式

## 優秀賞

個人

安楽 雅志氏 | 平成10年文学部卒

### 昭和レトロ風イラストクリエイター

**推薦趣旨** 安楽さんは、名古屋を拠点として活動する商業画家で、「昭和レトロ風」な絵をベースに、商業用ポスター、店舗の看板、鳥獣図(イラストマップ)、壁画、テレビ映像用イラスト、似顔絵、昭和風ロゴタイトル、商品案内用漫画アート作品制作、絵本などを描いています。モットーは「暮らしに役立ち、地域を発展させ、観光を促し、日本を豊かにするイラスト制作を目指します」。今では、全国の自治体や商業施設、店舗、テレビ局からの制作依頼が多く、多忙の毎日を送られています。1月11日には、NHKの昼番組「さらさらサラダ」に出演。安楽さん単独で25分程、紹介されました。愛知大学の建学の精神である「地域社会への貢献」を実践しており、愛知大学のブランド力向上に大いに貢献されています。



近藤 みのり氏 | 経営学部4年

### 準硬式野球部マネージャーとして東海地区、全国で活躍

**推薦趣旨** 愛大準硬式野球部のマネージャーとしての通常の業務を淡々と推進した上で母校のみならず、メジャーではなかった東海地区や全国の準硬式野球の存在感や知名度をアップさせ、連盟の発展にも貢献しました。具体的には

①広報活動です。愛大野球部の練習風景動画配信や誕生日を迎えた部員を紹介するなど工夫した SNS を高頻度に投稿しフォロワーを増加させました。また、全日本大学準硬式野球連盟の学生委員として連盟の広報活動や全国大会の運営に携わりました。更に東海地区大学準硬式野球連盟の SNS を開設し、全国大会出場大学の意気込みや戦力、試合結果を投稿しました。

②連盟初の試み、東西対抗甲子園大会のプロジェクトチーム（学生委員長）の活動です。2泊3日で行われた大会の計画・運営に携わり、学生責任者として記者会見や雑誌取材にも応じています。対抗試合は雨天中止となりましたが、活動を通して地区を超えた繋がりが醸成でき野球関係者以外の多くの人の注目を集めました。

③学生委員としてオーストラリア遠征に参加しました。コロナ禍ということもあり、通常にない出入国管理等煩雑業務も多々ありましたがこれらを適宜適切に行いました。遠征は成功し全員無事に帰国することが出来ました。日常業務の改善・工夫に留まらず新しいことにチャレンジすること、無から有を生み出すアイデアや行動力に感服します。幅広い領域での積極果敢な活動を通して愛大準硬式野球部及び準硬式全般の知名度向上や連盟の発展に貢献した近藤さんの活動を推薦者は高く評価し奨励賞に推薦します。



後藤 那月氏 | 法学部3年

### 第38回2022年 ACAP 論文賞「消費者問題に関するわたしの提言」での入選

**推薦趣旨** ACAP（公益社団法人 消費者関連専門家会議）が毎年開催している懸賞論文「消費者問題に関するわたしの提言」（文部科学省、消費者庁 後援）に後藤那月さんの投稿した論文「成年年齢の引き下げと若者に対する情報提供の現状についての提言」が2022年度入選作品として表彰されることとなりました。同論文賞は「消費生活に関する提言」を募集するもので、1985年から実施されており、今年で38回目となります。投稿資格は、一般・学生（18歳以上）となっており、大学生だけでなく社会人（なかには消費生活アドバイザーや消費生活相談員という消費者問題の専門家や中学・高校教諭）からも多くの投稿が寄せられるものです。今年度は全53名からの応募が全国から集まりました。審査形式について、日本消費者教育学会会長が審査委員長を、全国消費生活相談員協会理事長、弁護士、消費者庁審議官、ACAP 理事長の5名が審査委員を務めており、すべての投稿論文について審査を行うことがホームページで公表されています。そして、厳正な審査を行い、最優秀賞「内閣府特命担当大臣賞」1名、優秀賞「ACAP 理事長賞」1名、「入選」4名以内が選出されます。こうしたなかで、後藤論文が、今年度（2022年度）の「入選」として評価されました。この結果は、奨励賞にふさわしいと考えましたので、後藤さんを推薦いたします。



鈴木 亨尚氏 | 昭和58年法経学部卒

### 母校の国府高校野球部 OB 会長としてチームを牽引し、マスタース甲子園出場を2度も実現（2019年、2022年）

**推薦趣旨** 地域の野球クラブの活性化に尽力し、野球少年の夢、甲子園への夢への再挑戦によるマスタース甲子園の愛知県下では2回出場は只一校という快挙をなしとげました。社会人としてのマスタース甲子園への出場は、野球少年の夢をかなえる素晴らしい機会を与え、生きがいと活力ある人生の応援は、地元高校、同窓会と世代間の交流の活性化、地元・母校への愛着心等が芽生え、夢をあきらめない、夢は努力すれば必ずかなう、という子供達への熱いメッセージとして伝わりました。鈴木氏は、母校野球部 OB 会長として愛知県を飛び回り、マスタース甲子園を成功させたその功績は素晴らしく、母校国府高校、母校愛知大学で進路も同じ同窓生としての誇りが芽生え、推薦するにふさわしい人物と考えました。コロナ禍での開催は厳しく、愛知代表として開催に向けてのご努力や、無事開催されたことは、野球を愛する者だけではなく地域の喜び、家族の喜びです。夢を持ちつづければ必ず叶うという少年達の夢の実現です。甲子園出場は地域の活性化にもつながりました。地元紙にも大きく取り上げられました。マスタース甲子園での最終日、ラストを飾り閉会の言葉を述べられました。私達は、その素晴らしいスピーチに涙しました。コロナ下での開催のご苦労も多いにも関わらず、野球人としての姿勢、堂々とした挨拶は、益々マスタース甲子園が全国に広がり永遠の高校球児たちに夢を与えた、歴史の一ページを飾りました。又、鈴木氏は、名古屋の総会、支部の総会などにも数多く出席され、愛知大学同窓会への前向きな姿勢にも頭が下がります。推薦するにふさわしい方と考えます。



# ● 功労賞

個人

## 飯田 正明氏 | 昭和38年法経学部卒

### 同窓会活動「横浜ことはじめを巡る探訪」を通して会員の親睦・研鑽等に貢献

**推薦趣旨** 神奈川支部の名物行事に「横浜ことはじめを巡る探訪」がある。この事業を設立し牽引してきたのは、飯田正明氏（昭和38年法経学部卒）である。飯田氏は2011（平成23）年10月「第1回、鉄道・ガス・水道の発祥地を訪ねる」の実施にあたって「横浜は、開港以来日本の窓口であり、日本における『事始め』が多くある。これらを巡るガイドを行い、同窓会員の親睦と研鑽の一助としたい」と設立の動機を語っている。以来、年2回の開催を好評のうちに進めてきた。コロナ問題のために3年間の自粛を強いられたが、開催地を神奈川県内へと広げながら、昨年の12月には「第18回、鎌倉散策」を開催するに至っている。特長は、小学生から80代の先輩までといった老若男女の参加と東京など他支部からの参加が多い上に、徒歩での見学と散策後の懇親会によって多彩な交流のできる点である。参加者の延べ人数は500名に達しようとしている。人気の高い訳は、飯田会長リードの下で活動する「横浜をガイドする会」会員の周到な準備にある。会員は、見学場所を選考する会議、見学場所の下見（危険箇所やトイレ場所の把握）、懇親会場の下見、案内の送付、説明事項の下調べ、資料作成、保険の加入手続き等々と、参加者に「安心して参加出来、満足してお帰りたい」ための活動を行う。ガイド会員は、研究を職とされていた飯田氏が培われた研究精神＝アグレッシブな姿勢、多様な事柄に興味を示し深く掘り下げる精神、粘り強く工夫し解決する態度など、氏の影響を大きく受けている。また、飯田氏の温和で気さくな人柄に魅かれる参加者も多い。地道な研究と作業に基づく「横浜ことはじめを巡る探訪」の設立と実践を通して、同窓会員の親睦交流、相互研鑽、健康促進に貢献された功績は誠に大きく、同窓会奨励賞に十二分に値すると考え、強く推薦する。



## 梶田 健斗氏 | 経営学部4年

### 準硬式野球部主将としての活躍

**推薦趣旨** 入学直後から学年主将になった梶田君は「最終学年には全日本大会に出場して好成績を残す」ことを心に誓い4年間準硬式野球部で活動しました。入学当初より注目されていた梶田君は即主軸選手として活躍しチームの勝利に貢献しました。とりわけ3年生の春には驚異的な打率6割1分5厘で首位打者とホームラン王、ベストナインを獲得、秋にも打率二位とベストナイン、4年生の春には再び首位打者となりました。東海地区の安打製造機梶田は、巧打者としての地位を築きブロック対抗大会の東海選抜チームにも幾度となく選抜されました。4年生時には目標であった全日本大会に出場しベスト16の成績を残しました。本人の成績のみならず、主将として部員各人の技術力やチームカの向上に寄与したことは言うまでもありません。自らを厳しく律し部員の模範となる行動に徹したこと、学年に関係なく部員には積極的に声をかけるなどして良好なコミュニケーション作りを図ったことが全国ベスト16に繋がりました。また、平成4年度に初めて企画された東西対抗日本一決定戦甲子園大会に東海地区から4名、愛大から唯一選抜されました。残念ながら試合は雨天により中止となりましたが、ここでも愛大に梶田ありを強く印象付けました。成績だけでなく試合や練習に取り組む姿勢、社会との関わり方などに於いて愛大準硬式野球部の部活動を一段上のステージに引き上げた梶田君の役割と実績を高く評価し奨励賞に推薦します。



## 篠原 俊則氏 | 昭和53年文学部卒

### 「朝日歌壇」300首を超える入選 ～短歌を通じて地域社会に貢献～

**推薦趣旨** 昭和53年愛知大学文学部国文学科を卒業後、香川県教員として採用され、地元中学校の国語の教師として勤務。平成27年定年退職し現在は、地元の民生委員として高齢者宅の訪問等々地域社会で奉仕活動されております。学生時代は、古典の和歌を研究されていたそうです。就職して、教育現場を短歌で表現し、子供たちの教育にも、短歌を通じて日本文字はもちろん、物の見方、考え方や豊かな感受性を育む教育をされてこられました。昭和61年より「朝日歌壇」への投稿を始め「山深く輝き持てる原石のごとくにらは力秘めたり」で、いきなり入選されております。以降6年間で120首が入選し、1992年入選作120首をまとめて短歌集「原石」を自費出版されております。教員生活が多忙となり投稿は、休詠されておりましたが、定年退職後、時間も出来たことから、2018年7月より投稿を再開され、再開してからの入選が200首となりました。2022年8月14日入選作「缶ピース長髪下駄履き思草察まだ何者でもなかった私」これを見た、名古屋在住の95歳の大先輩からお便りを頂き、愛大の同窓生であることに誇りを感じたとの事でした。現在も民生委員として奉仕され短歌を通じて地域社会に貢献し、短歌の愛好家の世界においてもその知名度は高く、広く愛知大学の榮譽を高めておられる方として推薦させていただきます。



## ● 最優秀賞

団 体

### 愛知大学柔道部

#### 第69回東海学生夏季優勝大会 優勝

**推薦趣旨** 本学柔道部は、文武両道を目指して、日夜部活動及び勉学に励んでいる。令和4年5月21日に第69回東海学生柔道夏季優勝大会が開催されたところ、本学柔道部が56年ぶりの優勝を収めた。今回の結果が出るまでの努力を紹介すると、稽古では強弱のメリハリをつけ、部員同士が互いに声掛け、褒め合いをすることでモチベーションを上げて、全員が同じ方向を向いて取り組んできた。また、ミーティングで反省や次の目標を話し合い、各自の挑戦する課題を教えあっている。さらに、栄養面や怪我防止の方法など様々な知識の吸収を図るなどしている。このような努力が実を結び、他大学に比べタイトルを取りにくい環境下においても、優勝を果たすことができたものである。



## ● 優秀賞

団 体

### 為廣ゼミナール 塩、ひとつまみ | 経営学部3年

#### 名古屋マーケティング・インカレ優勝

**推薦趣旨** 名古屋マーケティング・インカレは2006年から毎年開催されている、名古屋近隣大学のマーケティング研究を行なうゼミナールが参加する研究発表大会で、学生が大学を越えて交流をもち、研究を深めあうことを目的としています。2022年度は第16回大会が開催され、5大学（愛知大学、愛知学院大学、愛知淑徳大学、名城大学、名古屋学院大学）7ゼミナールの学生（約150名、30チーム）が参加した。為廣ゼミでは、毎年、数名のチームに分かれて名古屋マーケティング・インカレに参加しているが、2022年度はこのうちの1チームが最優秀賞（1位）に選ばれた。このため、優秀奨励賞の対象者として推薦する。



優勝チームの概要は以下の通り。

チーム名：塩、ひとつまみ

研究テーマ：「メイクをする可能性がある男性の特徴とは」

メンバー：20m3079 小澤 拓也  
20m3156 森田 くるみ  
20m3175 川畑 優悟（代表者）  
20m3266 藤山 菜美

## ● 功労賞

団 体

### 為廣ゼミナール リライト | 経営学部3年

#### 名古屋マーケティング・インカレ準優勝

**推薦趣旨** 名古屋マーケティング・インカレは2006年から毎年開催されている、名古屋近隣大学のマーケティング研究を行なうゼミナールが参加する研究発表大会で、学生が大学を越えて交流をもち、研究を深めあうことを目的としています。2022年度は第16回大会が開催され、5大学（愛知大学、愛知学院大学、愛知淑徳大学、名城大学、名古屋学院大学）7ゼミナールの学生（約150名、30チーム）が参加した。為廣ゼミでは、毎年、数名のチームに分かれて名古屋マーケティング・インカレに参加しているが、2022年度はこのうちの1チームが優秀賞（2位）に選ばれた。このため、奨励賞の対象者として推薦する。



優勝チームの概要は以下の通り。

チーム名：リライト

研究テーマ：「化粧品のパッケージに企業名は本当に必要なのか」

メンバー：20m3014 石原 彩那  
20m3061 三輪 亮介  
20m3106 大西 ゆきの（代表者）

## ● クラブ愛知賞

団 体

### 戸田ゼミナール | 愛知大学地域政策学部

#### 軽トラ市の普及による地方商店街の活性化活動

**推薦趣旨** 軽トラ市は、人口が減少して維持することが困難な地域商店街を活性化する手法として、2005年に岩手県雫石町から始めて全国100か所に及んでいる。中部地域では、愛知県新城市の軽トラ市が全国3大軽トラ市（岩手県雫石町、愛知県新城市、宮崎県川南町）の一つとして活発な活動を続けている。戸田ゼミでは、新城軽トラ市を主な対象として、調査や実施協力を行ってきた。特に、推薦者がセンター長を務める三遠南信地域連携研究センターとの協働活動が多く、8年以上学生達の調査研究活動を行ってきた。

2022年度は、8月に中京テレビ「24時間テレビ」での「ささしま軽トラ市（1日目）」、「新城軽トラ市（2日目）」への協力や来街者への調査を行い、その様子は「24時間テレビ」で放送された。また、10月には長野県長野市篠ノ井地区で実施した全国軽トラ市での「全国軽トラ市シンポジウム（1日目）」の実施支援、全国の軽トラ市関係者が集まる「全国軽トラ市（2日）」での軽トラ市についてのプレゼンテーションを行った。これらは日本自動車工業会とも連携しており、前者は日本自動車工業会から中継・録画放映されている。また、スズキ株式会社の鈴木社長、ダイハツ工業株式会社の奥平社長等へのプレゼンテーションも行い、愛知大学学生として対外的な活動を担った。さらに、11月にはスズキ株式会社との共同研究として、軽トラックを連結する空間モデルを作成し、新城軽トラ市において社会実験を行った。これらは地元新聞でも紹介されており、学生活動と民間企業コラボレーションの成果を示しつつある。その他、ゼミ生は東海地域の軽トラ市の調査を続けており、今後、企業との共同活動、卒業論文等を通してその成果を出していく予定である。こうした活動は、最終的に学生個人の地域を良くしようという情熱に支えらえるものであり、奨励の機会を頂ければ、ゼミ生個人、ゼミ全体の励みになると考えられる。



## ● 同窓会資格試験合格者奨励賞

司法試験



村田 大和

2022年3月修了



川喜田 桃子

2022年3月修了

公認会計士試験



横山 竜起

経営学部4年

税理士試験



後藤 あゆみ

2022年3月修了



西村 悠平

2021年3月修了

## 学生教育活動顕彰（後援会奨励賞、同窓会奨励賞、クラブ愛知賞）

### 概要

愛知大学関係者（教職員、在学生等）および愛知大学の卒業生が、社会・文化・学術・芸術・スポーツ・社会貢献などの分野において活躍し、一定以上の成果をおさめた個人および団体に対し、その栄誉を称え、一層の励みとすることを目的に顕彰する。

### 給付金額

	（後援会奨励賞）	（同窓会奨励賞）	（クラブ愛知賞）
① 最優秀奨励賞	：100,000円	① 最優秀賞：100,000円	100,000円
② 優秀奨励賞	：50,000円	② 優秀賞：50,000円	
③ 奨励賞	：30,000円	③ 功労賞：30,000円	

\*個人には給付金額相当の記念品を贈呈する。

### 申請時期

1月末まで

（学術・文化の部）

- ① 最優秀奨励賞：  
全国的な学術・文化活動並びに大会で特に優秀と認められ、愛知大学の栄誉を高めた個人及び団体
  - ② 優秀奨励賞：  
中部、東海地区およびそれに準じた地区大会で優秀と認められ、愛知大学の栄誉を高めた個人及び団体
  - ③ 奨励賞：  
上記以外の活動、大会で優秀と認められた個人及び団体
- （スポーツの部）

### 出願資格

	① 最優秀奨励賞	② 優秀奨励賞	③ 奨励賞
国際・全日本大会（予選あり）	優勝、準優勝、3位	4位～8位	出場者
国際・全日本大会（予選なし）	優勝	準優勝、3位	4位～8位
中部・東海地区大会及びそれに準ずる大会		優勝	準優勝
その他の大会			優勝
マネージャー等			所属部の発展に貢献した者（卒業年次生）

（社会貢献の部）

- ① クラブ愛知賞：  
愛知大学に在学する学生や学生達で構成する団体で、顕著な社会貢献活動が認められた個人及び団体

### 必要書類

奨励賞推薦書

### 決定方法

後援会奨励賞は、愛知大学の教職員で構成される選考委員会（学生部委員会または運動部長協議会）にて選考し、愛知大学教育研究支援財団に出願された書類をもとに本財団の選考委員会で審査を行い、決定する。  
同窓会奨励賞は、愛知大学同窓会より推薦のあった候補者を本財団の選考委員会で審査を行い、決定する。

## 同窓会資格試験合格者奨励賞

### 概要

愛知大学教育研究支援財団が決めた資格試験（司法試験、公認会計士試験、弁理士試験、国家公務員総合職試験、司法書士試験、税理士試験）に合格した者に対して表彰し記念品を贈呈する。

### 金額

30,000円相当の記念品

### 出願資格

愛知大学（大学院、学部、短大）に在学中または卒業した者で、当該の資格試験に今年度もしくは前年度中に合格した者

### 必要書類

- ① 資格試験奨励賞申請書
- ② 当該の資格試験に合格したことを証明する書類（写し）
- ③ 在学証明書または卒業（修了）証明書

### 決定方法

出願された書類をもとに、愛知大学教育研究支援財団での審査を経て決定する。